

地域振興論第 4 回

1 社会経済統計

(1) 国勢調査

日本に在住する人を網羅した調査 5 年に 1 回

企業経営にも大きく役立つ (自分の企業でデータベースを作り上げる)

職業、年齢、住んでいる地区

最新 12 年

(ただし現在は集計が終わっていないので速報値となっている完全で最新は 7 年)

霞ヶ関 (通産省)・大手町に存在 **最も詳しい・時間がかかる (古くなりやすい)**

(住民票には左右されない)

(2) 住民基本台帳

常に新しいデータが入っている、最新は住民課で、1 年に 1 回本になる

総務省による地域の人口動態と世帯数の動向に関する調査。

お年寄りが多い町はどこか

住民票が移していないとカウントされない (正確性は少し下がる)

(3) 人口動態調査

結婚・離婚動向、死亡動向、出産率・出生率など

(出産率 1.3% (人口維持には 2.1% 必要))

厚生労働省

(4) 出入国管理統計年報

法務省による外国人についてのデータ

日本国籍でない人は現在約 150 万人

(5) 将来推計人口

将来の動向を計算したもの

1915 年	5500 万人
2001 年	12700 万人
2007-2008	
人口のピーク (以後減少)	
2050 年	1 億人
2100 年	6000 万人

静岡の動向

掛川は 2020 程度まで人口が延び続ける唯一の都市 etc.

以上のデータから何が分かるか

年齢区分分析（その地域に何歳の人がどれだけ住んで

1）三区分析

0～14 歳 15 歳～64 歳 65 歳以上 に分けて割合を
求める

2）5 歳階級別分析

0-4、5-9、10-15...のように分けて割合を求める

3）特殊階級別分析

若年人口比率：15-29 歳が全体に占める割合

→若年人口比率と人口増加率には相関関係

→地域振興とも深く繋がっている

魅力的な就学の場合と、就業の場合



成長型、高級、休暇の充実 etc.

地域に優良な企業を作り上げるには？

・ 企業誘致

（例：北海道…助成金、税金（固定資産税など）の減免、土地の提供）

・ 企業育成（振興・支援）

地元企業の育成

・ 創業支援（開業支援・企業支援）→インキュベーション

0～14 年少人口
15～64 生産年齢人口
65～老年人口、高齢人口
現在は高齢社会（高齢人口の割合が
15%以上）
山口県東和町 50%を超える
長野県大岡村 40%を超える

孵化させる
名詞：インキュベーター
（保育器）

再来週日曜日・松崎町公民館
13:30-15:00